

留学生の学習・研究環境としての大学図書館

—留学生の大学図書館利用調査を通して—

浜 口 美由紀

1. はじめに
2. アンケート調査の実施について
 - (1) 調査の方法
 - (2) 調査対象の留学生
3. アンケート調査の質問項目と回答
 - (1) 選択肢質問項目の結果
 - (2) 自由記述項目の結果
4. 学習・研究施設としての大学図書館
 - (1) 情報環境の変化
 - (2) 既存調査との比較
5. これからの課題

1. はじめに

日本の大学で学ぶ留学生は、彼らの学習・研究活動を支える教育機関としての大学図書館をどのように利用しているのだろうか。さらに、専門分野の研究活動に不可欠な情報収集や情報検索などスムーズに行えているのであろうか。実際、日本語クラスの授業の中で留学生の研究分野に関する情報収集の話を時々聞くことがある。留学生が日頃テレビやラジオで頻繁に耳にする新しい用語の解説を求めて来る時に、「現代用語の基礎知識」（年刊）などの用語辞典を紹介し、索引の引き方などを説明すると非常に関心を寄せてくる。こうした状況を経て、今回の調査の動機となったのは、本学大学図書館

内で多くの留学生が図書館を利用したり、館内の端末を使っている姿を目にすることであった。彼らがどのように大学図書館を利用しているのか、また留学生として大学図書館の機能をどのように享受しているのかに関心を持ち、実情を知りたいと考えた。「図書館は留学生の精神的支えに一母語の情報にふれるコーナー設置を―」^{注1}と題した中国人留学生の記事を目にした時、大学図書館は留学生にとって付加価値のある教育機関たりえることを喚起させられた。

この調査の目的の1つは、留学生の日本の大学図書館の利用状況を明らかにし、彼らが母国で利用していた大学図書館との比較を行うことである。2点目は、留学生は在学中に図書館を十分に活用しているかを課題としている。具体的には、日本語のキーワードでの情報検索が的確に行われているのか、そして日本語を介して図書館サービスを理解しているのかという点に着目してみたい。

2. アンケート調査の実施について

(1) 調査方法

1998年4月に留学生の大学図書館利用に関して、長崎大学に在籍する留学生の中から45人に直接アンケート調査を依頼した。利用対象の大学図書館は、文教町の中央図書館と医学部分館と経済学部分館の3館とした。各図書館の区別は行っていない。

調査方法は、質問項目を選択する選択肢方式と、9つの質問項目に自由記述する2通りの方式を設定したアンケート用紙を配布した。調査の目的と趣旨を説明するために、できる限り留学生と筆者との1対1の対面方式を取った。記入は無記名とし、自由記入欄は回答しやすい言語による記入を要請した。その結果、日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語の4ヶ国語の言語が使用された。調査時間は1人平均、15分から30分を要した。主に留学生の所属する研究室で実施した。日本語研修の修了者や滞在年数が長い人も調査対象となりえることを予測していたので、当初ふりがな付きの日本語のアンケート用紙を使用した。しかし、回答者に英語で質問事項の説明を行うことに時間を費やす結果となり、調査途中から英文の質問項目を併記したアンケート用紙に変更した。

(2) 調査対象の留学生

長崎大学には1998年5月1日現在209人の留学生が在籍している。本調査は45名の留学生の協力を得た。

調査対象の留学生の内訳は以下の通りである。

学部別の人数

教 育	経 済	医 学	歯 学	薬 学	工 学	水 産	海洋生物科学 研 究	不 明	合 計
1	5	8	6	3	5	14	1	2	45

水産学部の留学生が多い理由は、大学院生の研究室が比較的隣接してことと、同国の留学生同士で回答者の協力が多く得られたためである。

身分別人数

学部学生	大学院生	研 究 生
3	34	8

学部学生は学部や学年が多様に分かれており、彼らとコンタクトを取るのが難しくその結果、回答が少なくなった。一方、研究室に所属する大学院生とは連絡が取り易いため大学院生に数多く協力してもらった。

留学生の男女比

男 性	3 2 人	女 性	1 3 人
-----	-------	-----	-------

209人の留学生中、女子学生は69人在籍しており、女子学生の占める割合は33%である。本調査の女子学生の割合は40%であった。

留学生の出身地域

ア ジ ア	中 南 米	アフリカ
36	7	2

留学生の滞在年数

1年未満	1年	2年	3年	4年	5年以上
7	8	8	13	4	5

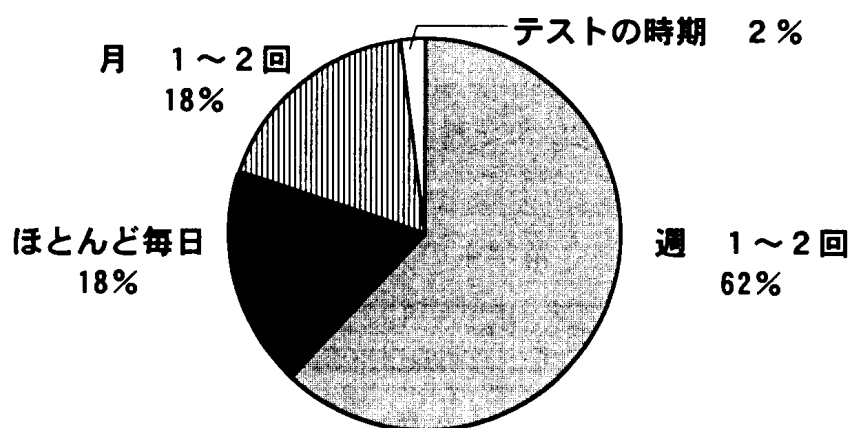
本調査で一番多い滞在年数は3年の13人である。滞在年数が長い留学生は日本の生活に慣れ、比較的ゆとりを持った学究生活を送っていると思われる。図書館利用の経験も滞在年数が長くなると当然利用回数が増えてくるだろう。2年以上の滞在は合計30人で全体の半数を越えている。1年未満の留学生と比べると図書館利用法や目的には異なる結果が出てくるであろうと予想される。

3. アンケート調査の質問項目と回答

(1) 選択肢質問項目の結果

1. 大学図書館へ行く回数 (1つ選択)

図1 大学図書館へ行く回数

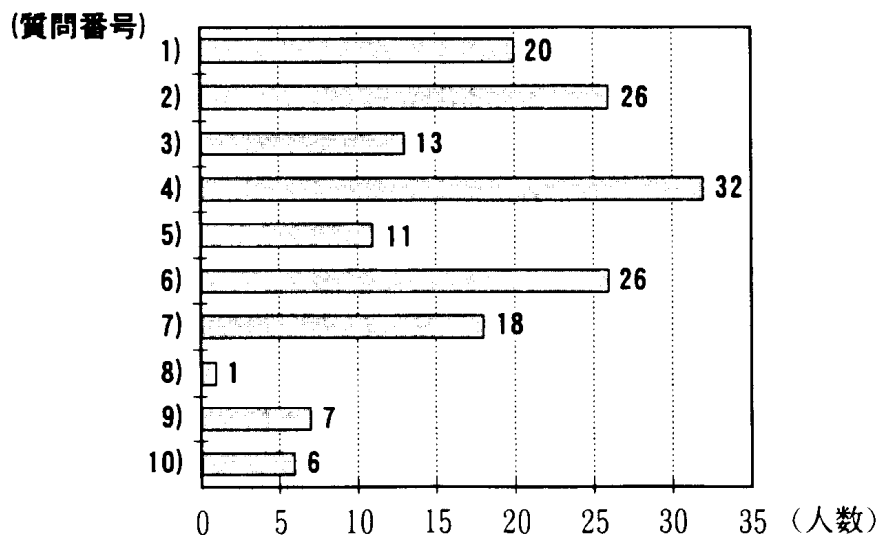


半数以上の28人が週1～2回は大学図書館へ行っている。週3回通っている学生も「週1～2回」を選択していた。ほとんど毎日通っている留学生は、滞在期間が1年未満の者と学部生に多い。また月1～2回通うのは主に大学院生の8人であるが、修士論文の作成時期には頻繁に図書館に通い、また実験や実習が始まると今度は図書館へ行く時間が持てなくなるようである。彼らの図書館利用回数は研究状況により変わり、本調査では現時点での図書館利用回数を答えてもらった。

2. 大学図書館に行く目的 (5つ選択)

- 1) 図書館の本を利用して図書館で勉強するため
- 2) 勉強や教養のため、本を借りにいく
- 3) 論文を書くために図書館を利用する
- 4) 勉強や研究に必要な雑誌をみたり、雑誌記事のコピーをとるため
- 5) 日本語や外国語の勉強のため
- 6) 新聞を読むため
 - 1 日本の新聞
 - 2 自分の国の新聞
 - 3 そのほか英語新聞など
- 7) インターネットを利用するため
 - 1 自分の国の新聞をよむため
 - 2 e-mailを使うため
 - 3 勉強や研究の情報をさがすため
 - 4 データベース (DATABASE) を使うため
 - 5 いろいろなホームページにアクセスするため
- 8) 大学院や就職情報の情報を知りたい
- 9) 図書館の本はほとんど利用しないが、冷暖房もあり、勉強しやすいから
- 10) 新聞を読んだり、まちあわせをする

図2 大学図書館に行く目的



大学図書館へ行く目的で最も多い回答は、「4) 勉強や研究に必要な雑誌をみたり、雑誌記事のコピーをとるため」の32人であった。実際には、コピーを取るよりも専門雑誌の最新号やバックナンバーの閲覧や関連分野の情報の検索を目的としている。2番目に多いのは、「2) 勉強や教養のため、本を借りにいく」、「6) 新聞を読むため」がそれぞれ26人であった。館内では主に英字新聞を読んでおり、日本の新聞は5人、自国の新聞は6人が閲覧している。3番目は、「1) 図書館の本を利用して図書館で勉強するため」の20人となっている。

インターネットは、大学院生は研究室に端末が設置されているため主に研究室で利用している。自国の新聞の同日版または1週間のニュースヘッドラインをインターネットで閲覧できるが、毎日閲覧している人はわずかであった。今やインターネットは、e-mailによるメールの交換や専門分野の情報検索・収集用に利用され、研究活動の必需品として主要な部分を占めている。

「8) 大学院や就職情報の情報を知りたい」は、調査対象者は半数以上が大学院生であるため、この質問項目には該当しなかった。

「9) 図書館の本はほとんど利用しないが、冷暖房もあり、勉強しやすいから」は7人の回答を得ている。日本滞在1年未満の留学生や学部生にとって図書館は日本語学習や専門の勉強の場となっている。

「10) 新聞を読んだり、まちあわせをする」は6人であるが、主に友人などの待ち合わせの場として利用している。

3. 他の図書館の利用について

1) 利用する	3
県立長崎図書館	2
他の大学図書館	1
2) 利用しない	40

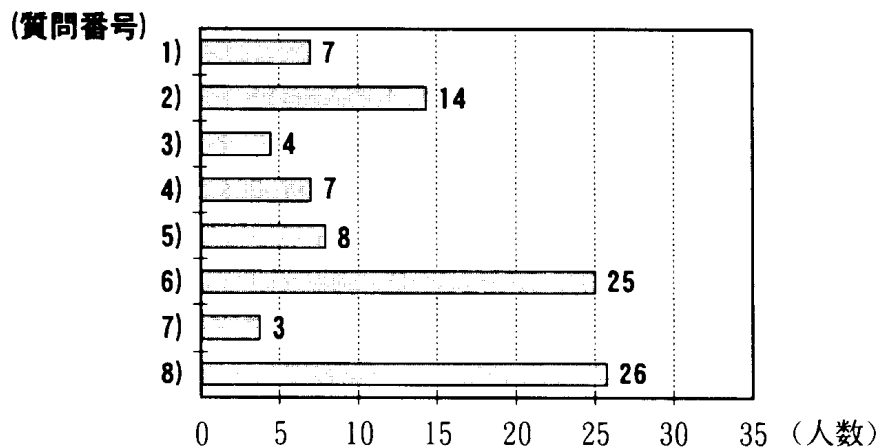
この設問は、長崎市内の公共図書館や他の大学図書館を直接訪ね利用しているかを問うた。他の図書館を利用している3人の内2人は、県立長崎図書館を利用している。利用目的は、研究分野に関する新刊の日本語が揃っており、回答者の1人の大学院生は毎週県立図書館に通っている。「他の図書館を利用しない」は40人が回答している。だが、彼らの大部分は文献複写を他校

の大学図書館に依頼して取り寄せた経験があり、間接的であるが他校を利用していると口頭で答えた。間接的な利用もこの質問項目に含めるのか、再検討を要する設問の内容であった。

4. 大学図書館の資料に対する要望 (2つ選択)

- 1) 日本語・日本文化・日本事情についての本・ビデオ・テープがほしい
- 2) 自国の新聞・雑誌がほしい
- 3) 自国について書かれた日本語の本がほしい
- 4) 日本について書かれた英語・中国語などの本がほしい
- 5) 辞典や辞書がほしい
- 6) 「留学生コーナー」にもっと本がほしい
- 7) 長崎についての情報がほしい
- 8) 自分の専門の本や雑誌がほしい

図3 大学図書館の資料に関する要望



1位は、「8) 自分の専門の本や雑誌がほしい」の26人であり、全学部の留学生に共通していた。本や雑誌について、回答者のほぼ全員が「英語」の専門書不足を強調していた。後記の「(2) 自由記述項目」に同様の質問を設定しているが、回答には雑誌タイトル名や専門領域が具体的に記述されている。しかも多数の回答を得ており、彼らの要求の高さが反映されている結果となっている。

2位は、「6) 「留学生コーナー」にもっと本がほしい」の25人である。

「留学生コーナー」^{#2}は、1989年5月に中央図書館3階の閲覧室に設置され、日本語学習用の英語版、中国語版、韓国語版、マレーシア語版、インドネシア語版のテキストや日本紹介の英語の本やビデオ、カセットテープが備え付けられ、貸出も行っている。同コーナーは中央図書館にのみ設置されている。

医学部分館にも「留学生コーナー」の設置希望の声が多かった。同コーナーの蔵書に、日本の文化・歴史・教育を紹介する英語の本を多数揃えて欲しいという意見が多く、滞在年数が長い留学生からの要望も高い。

長崎に関する情報は、活字よりもビデオ映像を通して知りたいと長期滞在の学生から希望が出ている。来日後に長崎を紹介するビデオを見ていたら長崎の全体像を早く知ることができたであっただろう、と彼らの経験から出た意見であった。「留学生コーナー」に対する多様な意見と感想も自由記述の欄で紹介する。

「2）自国の新聞・雑誌がほしい」14人は、英語・中国語以外の言語を使用する国からの留学生であった。彼らの母国語で印刷された新聞・雑誌を購入することは現実的ではないと理解している。しかし、自国の活字の新聞や定期刊行物を図書館で閲覧できなくとも、彼らの願望が回答に反映している。また、自国の活字が必要ないと答えた人は、インターネット上で自国の新聞を読んでいるため図書館での閲覧は必要ではないと述べている。

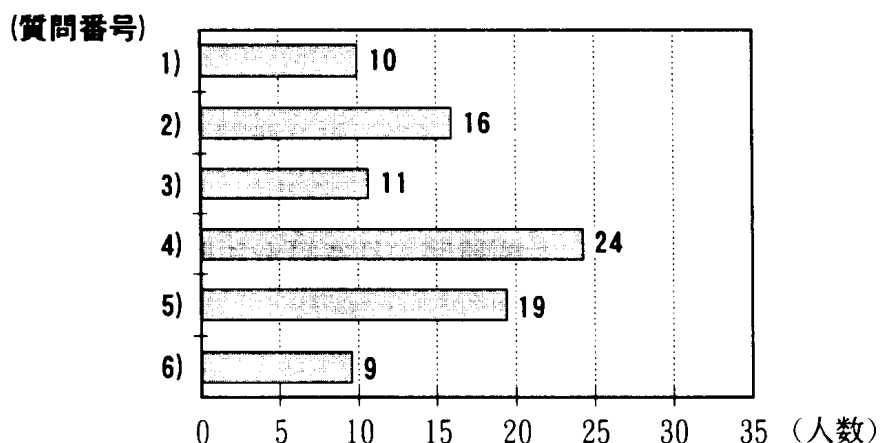
「3）自国について書かれた日本語の本がほしい」4人は、日本人に出身国の事情を紹介する機会に、日本語の本があると日本人に理解してもらいやすいという理由で回答している。

「5）辞典や辞書がほしい」8人は、専門分野の用語集（英語－日本語）が必要であると答えている。

5. 大学図書館に対する要望（2つ選択）

- 1) 貸出期間を長くしてほしい
- 2) 貸出冊数をふやしてほしい
- 3) 開館時間を長くしてほしい
- 4) 大学図書館にない本を買ってほしい
- 5) 大学図書館の使い方をもっとおしえてほしい
- 6) 自分の国のことばで書いた大学図書館のガイドがほしい

図4 大学図書館に対する要望



大学図書館に対する要望で一番多いのは、「4) 大学図書館にない本を買ってほしい」の24人である。大学図書館にない本とは、既述の通り英語の新刊の専門書である。次に多かったのは、「5) 大学図書館の使い方をもっとおしえてほしい」の19人である。滞在期間が短い人は当然この要望が強いが、滞在期間が長い人でも、図書館の利用方法に関する情報提供や情報案内を望む意見が多い。「6) 自分の国のことばで書いた大学図書館のガイドがほしい」9人は、その中には長崎大学図書館の入口で配布している図書館案内の英語版と中国語版を知らない人が含まれている。また、貸出冊数の増加と開館時間の延長や貸出期間の延長に対する要望も多い。

大学図書館の資料と大学図書館に対する要望の2つの設問に関して、多様な意見が出ており、自由記述の欄に具体的な意見が書き込まれている。

(2) 自由記述項目の結果

アンケート用紙「6. 自由にかいてください。」の9質問項目の空欄には日本語による記入、もしくは回答しやすい言語による記入を要請した。その結果、日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語での回答となった。口頭による日本語で答えた留学生の回答は筆者が代筆した。

自由記述欄に記入された回答内容は、留学生の大学図書館利用に対する率直かつ貴重な意見であり、各言語原文の趣旨を汲み取りながら、日本語に翻訳した回答を列記する。ただし各言語の別(日本語、英語、スペイン語・ポルトガル語)を明記し、同様の意見が多数ある場合は、1文を代表として取り挙げた。

1) 大学図書館でよく読む新聞や雑誌

新聞	Japan Times	17人
	Mainichi Shinbun	3人
	Daily Yomiuri, New York Times, 毎日新聞、人民日報	各2人
	The Hindi, International Herald Tribune	
	中国留学生、朝日新聞、長崎新聞、日本経済新聞	各1人
雑誌	Time	10人
	Reader's Digest, Newsweek	各5人
	National Geographic, Life, 中国青年	各3人

選択肢質問項目における「大学図書館へ行く目的」の中で「新聞を読むため」と回答した人が館内で閲覧している新聞と雑誌のタイトル名は上記のとおりである。出身国の新聞や雑誌の見出しなどをインターネットを通して読み、日本国内外のニュースは図書館内のJapan Timesなどを閲覧している。情報獲得の手段を使い分けている状況が分かる。

「よく読む雑誌」は、専門雑誌を除いた雑誌タイトルに限定した記入を要請したつもりであったが、回答には専門分野の雑誌タイトルが多数挙がっていた。大学院生の所属学部内や研究活動の場である研究室周辺に専門雑誌が複数揃っており、大学図書館内の雑誌には関連領域の専門雑誌や一般雑誌、総合雑誌が求められている。その他に図書館へ行く時間のない学生の中には、Timeなどの洋雑誌を個人で定期購読している人もいた。

2) 大学図書館の資料に関して

(日本語)

- ・最新のジャーナルは揃っているが、新しい英語の専門書が欲しい。
- ・図書館の端末操作の英語版のマニュアルが欲しい。
- ・もっと英字新聞と英語の雑誌（一般雑誌）と英語の本（読み物）が必要である。
- ・「長崎大学学術雑誌目録 欧文編 1993」の最新版が欲しい。同書はオリジナルタイトルをアルファベット順に排列しているが、所蔵場所が漢字表記になっているので、使用の度に図書館職員の人に尋ねることになる。英語による所蔵表記も併記して欲しい。（非漢字圏出身）

- ・専門の雑誌がほしい。（同意見多数）
- ・新しい本が少しすくない。
- ・フランス語の本がほしい。（専門の辞典のこと）
- ・大学院生用の専門の本が少ない。
- ・資料が少ないのもっと増してほしい。

（英語）

- ・英語の小説を貸出ししてほしい。
- ・大学図書館は図書、特に各専門分野の専門書や学術雑誌を数多く購入する必要があると思う。
- ・「留学生コーナー」に英語の専門書と小説が欲しい。
- ・できるならば、科学関連の洋書をもっと希望している。そして最も重要なのは図書館内に英語の案内が必要である。
- ・「留学生コーナー」に英語の小説を購入してもらいたい。そして洋書の研究分野の主要な専門書も備えて欲しい。
- ・A：「留学生コーナー」に関連分野の図書が必要。
- ・B：日本の文化、日本の教育システムなどについて書かれた英語の本も同コーナーの資料として必要である。
- ・洋書のコレクションが必要である。
- ・英字新聞や洋雑誌が非常に少ない。私たちは例えば「The Economists」や「Asia week」などの経済ジャーナルが欲しい、そして最新の洋書の専門書が欲しい。（バイオテクノロジー・電子工学・水産など具体的に専門分野を記述し、関連する学術雑誌の要求が多数あり）
- ・図書館でCD-ROMが利用できると良い。

（スペイン語・ポルトガル語）

- ・スペイン語による利用案内や情報があると嬉しい。
- ・長崎大学には留学生が多いが、英語の本が充分ではない。図書館の英語の読み物は古い本がほとんどである。
- ・私の国の週刊誌や月刊誌があると嬉しい。例えばVEJA, EXAME, ISTOEなど。

大学図書館の資料に対する要望では、同様の選択肢質問「4.」の結果を裏付ける回答内容であった。大多数は、英語の専門書不足とそれらの購入希

望の意見を具体的に述べている。専門雑誌に関しては充足感を持っている留学生も多い。また、専門雑誌を要求する中には、個々の研究分野を述べて専門分野の雑誌名を記入している人が多数いた。

次に多いのは「留学生コーナー」に対する蔵書内容の充実である。要求する資料は、専門書よりもむしろ、英語の小説やノンフィクションなど娯楽性の高いものが多く、図書館資料に「留学生の精神的支え」が強く求められている様子が伺える。更にこのコーナーには日本事情（教育・文化）に関する英語の新刊本の希望がある。その要求は滞在年数の長い留学生から多く出ている。医学部分館にも「留学生コーナー」の設置を望む声が多数あった。

図書館内でCD-ROMを利用した雑誌記事検索用端末（英語版と日本語版）を希望する人もいた。

3) 大学図書館の利用に関して

（日本語）

- ・日曜日にも開いていると便利で助かるし、実習や実験が長引くと図書館へ行く時間がなくなってしまうので開館時間を延ばしてもらいたい。
- ・図書館内に英語の表記や説明が欲しい。
- ・英語の利用案内がほしい。
- ・開館時間が短い。
- ・MEDLINEの利用に関して、利用時間を少し延ばしてもらいたい。
- ・館内に禁煙コーナーがほしい。（医学部分館）
- ・インターネットの使い方を知りたい。
- ・毎月第1・3週などの間隔で日曜日も大学図書館を開館してもらいたい。
- ・中国語による説明があるといい。
- ・開館時間を長くしてほしい。
- ・必要な本が探しにくい、また貸出期間と冊数が少ない。
- ・留学生は図書館からのニュース、館内配置、お知らせなどの英語表記を必要としていると思う。
- ・使いやすい。
- ・閉館を夕方7時まで延長してほしい。（土曜日の閉館時間について）
- ・研究室での実験が終わった後にも図書館へ行けるように開館時間を夜9時まで延長を希望している。

- ・雑誌のバックナンバーが利用できるように英語での図書館案内が必要。
(特に書庫の利用に関して)
 - ・図書館は良いのだが、英語や他の言語による情報や資料が無いために、利用しづらい。
 - ・図書や学術雑誌を検索するためにコンピュータをどのように利用するか知りたい。
 - ・「留学生コーナー」に英語の情報が欲しい。
 - ・情報を探すことは最も重要なことである。
 - ・長崎大学図書館を通して他国からの書籍の相互貸借ができるのか、図書館サービスに関して知りたい。(例えば、母国の大学図書館にはより多くの専門書が揃っているので、母国の大学図書館から資料の貸借ができるか)
 - ・留学生のために大学図書館のコンピュータに英語バージョンのプログラムが欲しい。そして館内の端末にもプリンターの接続が必要である。
 - ・大学図書館の図書の利用方法を教えてくれるカウンターがあるといい。
 - ・私のように来日直後で日本語がまだよく分からない留学生は、大学図書館の利用は大変フラストレーションが溜まる。その理由は、大学図書館職員は英語を話せず、私も日本語が理解できないからである。
 - ・大学図書館は多くの学生にとって便利である。E-mailを使用する時には待ち時間がかかる。
 - ・素晴らしい。
 - ・快適であるが、トイレの匂いが悪い。
- (スペイン語・ポルトガル語)
- ・日曜日も開館していればいいと思う。そして開館時間を少し延長してもらいたい。
 - ・図書館サービスの内容についてまだ知らないため、図書や雑誌の利用方法が分からない。(来日直後)

大学図書館の利用(サービス)に関して最も多い要望は、選択肢質問「5) 大学図書館への希望」の回答結果と同様に、大学図書館の使い方をもっと教えてほしいとする意見である。館内に英語の案内や図書館からのお知らせ、分類番号の説明などの英語表記を強く望んでおり、英語のサイン表示があれ

ば、利用方法の理解が深まるであろうと回答している。この要望は回答欄の記述も少なくないが、非漢字圏の留学生のほぼ全員が口にした意見であった。すでに、大学図書館では英語と中国語の2ヶ国語の図書館利用案内を配布している。しかし、この案内パンフレットを知らないため、基本的な図書館サービスの内容を理解していないと思われるケースも数件見られた。この調査終了後に英語版の利用案内を提示すると、初めて図書館サービスの内容を知った留学生も少なからずいたことを特記する。また、滞在期間が短い留学生からの図書館利用全体のガイダンスの要望が高い。

滞在年数が長い学生は図書館サービスに慣れ、日本人学生と同様に図書館サービスを受容している。例えば、文献検索、文献複写依頼、レファレンスなどを利用しており、更にサービスに対する具体的な要望を持っている。同時に滞在年数の長い留学生も、図書館ガイダンスを求める声は多い。

開館時間の延長を望む意見は、出身国の大学図書館の開館時間が比較的長く、それを背景とした要望のようである。しかし、図書館ガイダンスを望む程の強い要求ではなかった。研究室などでの実験終了後であっても図書館が開館していれば、利用できるのだがとする意見がある。

4) 大学図書館の建物・机・イス・冷暖房などに関して

(日本語)

- ・いまの状況がいい。(同意見多数)
- ・医学部の喫煙コーナーは新聞コーナーと近く、私が喫煙するたびに他の利用者に迷惑をかけるため換気扇をつけてほしい。
- ・きれいである。
- ・いすが不便だ。
- ・夏、経済学部の図書館は暑く勉強しにくい。
- ・昨年、図書館のクーラーが故障していたので、今年の夏はそうならないことを願っている。
- ・書架で本を探す時にもう少し明りが欲しい。夏の間は特にエアコンが必要である。
- ・満足している。
- ・何も不満はない。
- ・文教町の中央図書館は問題ないが、経済学部分館には多少問題がある。

それは、図書館内の2階や3階は閉架式書架になっているからである。学生は閉架書庫の2階や3階で本を1・2冊選択し、それを持って1階へ行き勉強をする。私にとってそのような利用方法は時間がかかるし不便である。

大学図書館の施設に関しては概ね満足度が高い。一時的な設備の故障に関する不満はあったが、利用に際して使い勝手が良いという意見が大多数であった。

5) 大学図書館のコンピュータに関して

- ・メニューが日本語なので英語のメニューがほしい。
- ・自分の研究室にコンピュータがあるので、ほとんど図書館のコンピュータを使用していない。また、コンピュータによる資料検索にまだ充分慣れていないので、ぜひ教えて欲しい。
- ・使ったことがない。
- ・コンピュータがすこし少ないと思う。
- ・利用者が多い混雑しているのでコンピュータを増やして欲しい。
- ・コンピュータの利用案内の英語版があるといい。
- ・英語バージョンのソフト、例えばMEDLINEの検索用などを備えたコンピュータを1台図書館に設置してあるといい。
- ・大学図書館のコンピュータも良い。
- ・コンピュータの増設を希望する。
- ・少なくとも英語版のシステムを備えたコンピュータが数台あるといい。
私は英語版システムのインストールは手伝うことができる。
- ・コンピュータ用の英語のマニュアルや利用の解説書の英語版があると素晴らしい。
- ・「留学生コーナー」の側にコンピュータが設置されているが、プリンターがなく、CD-ROMディスクを使用することができない。
- ・経済学部分館は時々故障があり台数が非常に少ない。留学生にとって英語版のソフトと英語版プログラムが使用できるコンピュータが必要である。そして、Windows, Words, Excelなどソフトの日本語バージョンは漢字が難しく、これらのソフトを使用したレポート作成ができない。
英語版ソフトが必要。

- ・良い、しかし図書目録検索用のCD-ROMがない。
- ・図書館のコンピュータは立ち上がるまでに時間がかかる。コンピュータのバージョンアップを希望する。
- ・コンピュータの起動までに時間がかかるし、利用者用のコンピュータが少ない。

(スペイン語・ポルトガル語)

- ・英語のマニュアルがあると利用しやすい。
- ・良いと思う、英語バージョンの端末があるといい。
- ・良い機種が揃っている。留学生が増えるに伴い、レポートや図やグラフなどパソコンを利用して作成できるように、そして時間を有効に生かせるように英語バージョンのソフトを是非備えて欲しい。
- ・来日して日が浅いのでパソコン用のパスワードをもらっていない。まだ図書館のパソコンを利用していない。

大学院生の研究室には専用の端末があるので、大学図書館のパソコンを利用したことがない大学院生が多く、「使ったことがない」や「あまり使ったことがない」の記述が多数あった。しかし、大学図書館のコンピュータを利用する場合に英語版マニュアルや留学生用の英語バージョンのソフトを備えた端末を是非備えて欲しい、と指摘する意見が多い。コンピュータの不足を記述している人も多いが理由の1つは、館内のコンピュータの利用者が一時的に集中する場合があるので増設を希望するものであった。今年4月には「留学生コーナー」に留学生用の端末が3台増設されているが、同月に実施した本調査の時点では留学生に充分周知されていないようであった。

医学系データベースMEDLINEの検索方法についての講習を希望する人もあった。

6) 大学図書館の職員に関して

(日本語)

- ・利用が分からない時手助けしてくれる。(同意見多数)
- ・図書館利用が初めての人達(留学生)のために英語ができる人がいるといい。
- ・職員はいい人達ですが、図書館を利用するときに分からない時に教えて

ほしい。

- ・英語の分かる職員がいるといい。（同意見多数）
- ・とても親切で、いつも親切にしてくれる。（同意見多数）
- ・親切であるが、しかし留学生との交流が少ない。
- ・使い方を教えてほしい。
- ・一部分の職員はやさしいけど、ある一部分の職員はていねいにしてくれない。

（英語）

- ・英語を話す職員が必要。
- ・現在、留学生のために英語が話せる職員がいれば図書館利用について容易に理解することができると思う。（同意見多数）
- ・親切で礼儀正しい。
- ・職員の人達はとても親切で温かい。
- ・協力的である。
- ・新しく来た留学生のために、「留学生専任」係りを図書館に要望する。係りでは図書館の利用や図書館に関する説明などの図書館ガイダンスを実施してもらいたい。
- ・職員の人達は親切でいつも手助けしてくれる。しかし、私達は言葉の壁があるので難しいことがある。
- ・専門的である。
- ・とてもサービスに徹している。
- ・サービスが良い。しかし、資料請求には時間がかかっている。

（スペイン語・ポルトガル語）

- ・親切だが、英語を話す職員がいると良いと思う。
- ・来日して日が浅いのでまだ職員とは接していない。

大学図書館の職員の親切な対応に満足している留学生は多い。敢えて言うならばと付け加えた意見では、「英語を話す職員にいてもらいたい。滞在年数の長い留学生達から、来日後英語での図書館ガイダンスを受けていれば図書館利用方法が早く理解できた。また詳しい利用について、例えばリクエストの方法やそのサービス内容について英語の説明があると分かりやすい」とするものが多かった。

7) 日本の大学図書館の感想

(日本語)

- ・とても良い印象を持っている。コレクションが多いし、スタッフも親切で勉強しやすい。
- ・日本の図書館システムがよく分からないので、リクエスト（要求）が伝えられないことがある。
- ・良い。サービスがとてもいい。
- ・すごいと思う。その理由は①保存の蔵書数が多い。②雑誌がない場合には注文ができる。
- ・専門の雑誌の量はとても多いが、日本の文化についての資料が少ない。
- ・静かすぎる。
- ・他の日本の大学図書館をよく知らない。しかし、県立図書館の本は新しいし、職員たちもやさしい。

(英語)

- ・図書館は一般的に非常に効率的に機能している。
- ・良い印象を持っている。図書館の規模は適切であり、学生用の蔵書数は充分である。
- ・私達の専門分野に関連する図書を増やして欲しい。
- ・日本人学生に対しては日本の大学図書館は問題ないと思うが、留学生にとっては英語の図書が少ないので日本の図書館は良いとは思わない。
- ・私は図書館が好きである、しかし日本人に対しての図書は充実しているが全ての学生（留学生含む）にはさらに図書が必要だと思う。
- ・学生達は図書館で友人を作ったりする場所であるよりももっと勉強する場所として図書館を利用することを学ぶべきだと思う。
- ・専門分野と関連分野に関する英語の専門書を増やして欲しい。
- ・専門分野の専門書が少なく、専門書があっても図書館ではなく学部の研究室に配架されている。
- ・日本語で書かれた図書は大変豊富にあるが、英語の図書は非常に少ない。反対に私の国では私の研究を継続させることが非常に難しい。
- ・留学生用の英語の目録が必要である。英語の参考図書類や英語の雑誌が少ない。
- ・規模が小さい。そして英語の専門書の量が非常に少ない。

- ・ほとんど自国と同様である。ただ日本の大学図書館の方がより電算化されている。

(スペイン語・ポルトガル語)

- ・大学図書館内で寝てる人がいて驚いた。
- ・一般的に図書館サービスが良い。

「日本の大学図書館の感想について」は、長崎大学以外の大学図書館を利用した経験がほとんど無く、長崎大学図書館の印象に関する記述となってしまった。共通する意見は、図書館サービスの良さと日本語の資料を含む図書館の蔵書数の多さを挙げている、その反面本項目の回答にも英語資料を求める意見が記述されている。滞在期間が短い留学生の中には、「図書館利用を十分理解していないので分からない」とする意見もあった。日本人学生の図書館利用に対する率直な感想も含まれている。

8) 自分の国の大学図書館との比較

(日本語)

- ・自国の大学図書館は使いやすい、特に本やコンピューターなどが使いやすい。そして貸出時間は短い、閲覧時間は長い。
- ・日本の大学図書館システムはまだよく分からない。
- ・自国の大学図書館は夜12時まで開館しているので遅くまで勉強できるし、休日も夕方5時まで開いている。日本は英語の本が少ない。
- ・タイの大学図書館には英語とタイ語の本や情報が半分ずつ所蔵されている。専門書は全て英語である。
- ・日本の大学図書館は雑誌が多く、新しい情報が多い。図書に関しては自国の方が英語の新刊書が多い。
- ・自国の大学は、大学によって違いがある。雑誌が多く、最新の情報がすぐに入手することができる。
- ・自国ではインターネットを通じて雑誌記事の資料請求ができ、CD-ROMから雑誌記事やtopicsの検索ができるが、日本ではその利用方法が分からない。
- ・自国と比較してずいぶん違う。その理由は①サービスの態度、②蔵書の数、雑誌の数である。

- ・ブラジルの大学図書館は雑誌が少ないので他の大学に頼むと時間がかかる。
- ・開館時間（日本 9 時～20 時、韓国 6 時～24 時）。
- ・日本の大学図書館はうるさすぎる。
- ・中国の大学図書館ではいつも勉強している学生が多い。夏休みや冬休みも学生多い。日本の図書館の condition がとてもいいから、もっと利用してほしい。
- ・自国の大学図書館は少しうるさいと思い。その理由は、大学生同士のお喋りや館内での飲食などが原因。
- ・ほとんどおなじくらい。
- ・日本の図書館の条件はともていい。自国の大学図書館は狭いし、資料も少ない。

（英語）

- ・日本の大学図書館は備品が揃っている。それはコンピュータや雑誌のバックナンバーなどである。自国は貧しく、図書やコンピュータに予算がまだ必要である。
- ・長崎大学図書館と比較して自国の大学図書館は規模が小さい。そして、図書資料はここと比べるとまだ少ない。
- ・自国の大学図書館よりもいい。
- ・この大学図書館は良い、しかし最新の図書館用機器が必要である。例えばコンピュータと図書の数を増やす必要がある。
- ・日本の大学図書館の規模は小さい。日本の図書館資料は大部分は日本語である。
- ・カラーコピー機のように最新機器を購入するといいい。
- ・長崎大学図書館は英語の図書と洋雑誌の数が少ない。自国の大学図書館ではベンガル語の図書や雑誌よりも英語の図書や雑誌の法が多い。
- ・カンボジアの大学図書館は長崎大学図書館よりも小さい、長崎大学と同規模の大学図書館をカンボジアにも欲しい。
- ・自国では英語を介して勉強をしていた、そして母校（ダッカ大学）では毎年最新の英語の図書を購入しているが、ここではそれが少ない。

（スペイン語・ポルトガル語）

- ・自国では MEDLINE などデータベースの検索やコンピュータを利用する

機会は少ない。しかし、図書や図書館の備品を大切に利用している。

- ・ 自国では大学図書館を勉強や閲覧や調査研究するために利用しているが、日本の大学図書館では睡眠場所として利用している人がいる。
- ・ 留学生のために様々な情報が欲しい、そして英語の資料が少ない。

留学生の母国の大学図書館と比較した場合に、図書館の規模と蔵書数を比較した意見が第一に述べられている。調査の対象となった留学生には非英語圏の出身者が多数含まれており、彼らの大学では英語の専門書の使用頻度が非常に高い。当然ながら大学図書館の蔵書には英語の図書が多数を占めており、加えて、英語の学術雑誌も複数タイトル所蔵されている。英語の専門書数に限って比較すると日本の大学図書館（本大学図書館）の所蔵数は少ないであろうことは予測できる。

図書館の電算化に関しては、出身国よりも日本が進んでいるとの意見が多い。日本ではコンピューターを使用する際の英語版マニュアルの必要性を求める意見も同様に多い。

9) そのほかにかきたいことがあったらかいてください

(日本語)

- ・ 日本語の雑誌の検索がむずかしい。
- ・ 図書館は新聞・雑誌だけを閲覧する所ではないので、もっと図書館を上手く利用する方法を教えて欲しい。
- ・ 図書館の説明がほしい、例えば英語と日本語が表記してある。
- ・ 電気が暗い。
- ・ 大学図書館の本は県立図書館の本より古い。どうして？

(英語)

- ・ 私は図書館をもっと利用しやすくなるように英語によりガイダンスの必要性を強調する。そして出来るならば歯学部構内に歯学部図書館が欲しいと思っている。
- ・ Reader's DigestやTimeやNewsweekなど一般雑誌を1日か2日間の短期間貸出てもらいたい。
- ・ 大学図書館の月曜日から金曜日までの開館時間を夜10時まで延長してもらいたい。

- ・日本語の図書に比べて英語の図書は少ないので、大学図書館に是非購入してもらいたい。
- ・図書館の中での睡眠は止めた方がいい。
- ・新年度の始まりには留学生向けに大学図書館の規則についてのガイダンスなどの説明会を企画してもらいたい。
- ・プリンターやスキャナーなどの周辺機器を揃え、英語のソフトが使用できるコンピュータを希望する。
- ・今、多くの外国人学生が日本で勉強している。彼らの要望を確認することが必要である。
- ・大学図書館間のネットワークがあれば我々学生にとっても他の図書館から簡単に資料を入手できるであろう。

(ポルトガル語)

- ・図書館の利用案内がほしい。

8項目の回答には重複している回答が多く見られる。当質問項目に対する回答にも英語の専門書の購入要求と来日後の大学図書館ガイダンス及び図書館の利用方法についての説明を強く希望している留学生が多い。

4. 研究・学習環境としての大学図書館

(1) 情報環境の変化

インターネットのグローバル化は情報環境や研究環境を一変させてしまった。双方向の情報伝達の開発と高速化によって地域差や時間差を無くしてしまい、瞬時に大量の情報を伝えることが可能となった。

3年以上滞在している留学生にとっても、彼らの来日以後に情報環境が急変し、研究環境の変化を彼ら自身も実感している。来日した頃はインターネットが普及し始めた時期であった。そして5年以上滞在している留学生の来日時にはインターネットはまだ存在していなかった。当時は母国の活字や情報に触れる機会も少なく、大学図書館には英字新聞を頻繁に見に通ったそうである。しかし、現在は研究室や大学図書館の端末で瞬時に母国の情報に触れ、e-mailを通じて母国の指導教官や同僚や家族、世界中の専門分野の研究者

達と意見交換を行っている。その反面、母国の活字を求めて図書館へ通う機会は少なくなったと話している。

医学分館では1994年9月までMEDLINEのCD-ROMによる文献検索は1人30分の予約制であった^{注3}。利用者は予約した時間に合わせ分館に通っていた。同年10月以降は学内LANにより全学の各部局で利用可能となり、研究室の端末からもMEDLINEの検索ができるようになった。その結果、MEDLINE利用に医学分館へ出向かなくても、研究室で情報検索が行われ留学生も含めてMEDLINE利用者の利用方法は変わり、研究時間の効率化につながっている。

(2) 既存調査との比較

1990年10月、近畿地方において留学生が在籍している大学の大学図書館40館を対象に「留学生の大学図書館利用調査」が実施された。調査報告書には、23大学の留学生173人の回答結果が発表されている^{注4}。この調査報告は留学生を対象とした本格的な図書館利用調査である。1990年の調査結果を基に今回長崎大学で実施した調査結果との比較を行う。以下のデータは1990年の調査結果である。

1. 大学図書館へ行く目的 (上位3位まで)

・図書館の本を利用して図書館で勉強するため	111人
・勉強や教養のため、本を借りに行く	92人
・勉強に必要な雑誌を見たり、雑誌記事の コピーをとるため	64人

2. 大学図書館の資料で希望すること

・日本語・日本文化・日本事情についての 本・ビデオ・テープ	82人
・自国の雑誌・新聞などの充実	68人
・「留学生コーナー」の設置	47人

3. 大学図書館に強く希望すること

・貸出期間を長くしてほしい	89人
・開館時間を長くしてほしい	61人
・図書館にない本を買ってもらいたい	58人

4. 図書館職員から図書館利用法について説明してほしいこと

・分類や目録について一本のさがし方—	49人
・コンピュータによる情報検索について	48人
・他の図書館から本やコピーを取り寄せる方法	26人

大学図書館へ行く目的で共通しているのは、図書館の資料を利用している点で、図書館を利用したの「自習」ではないということである。また図書館利用の目的が明確なことである。

図書館資料について、1990年の調査では「留学生コーナー」の設置が強く望まれていた。当時はまだ留学生の図書館利用に関する一般的な関心が高まっていなかったことが「留学生コーナー」設置の要望に反映されていたのではないだろうか。1994年に「留学生コーナー」を設置している長崎大学ではその内容の充実が求められている。

大学図書館への要望は貸出期間と開館時間の延長であり、資料要求は3番目となっている。長崎大学では資料要求が1番である。

図書館の利用方法について説明の希望は、留学生が何を望んでいるのか既存調査では質問項目を具体的に設定している。本の探し方と情報検索に対する要望が合計97人であった。図書館利用に対する直接的な利用指導の要望の高さは現在も変わっていないことが分かる。

5. これからの課題

まず、留学生は大学図書館をよく利用していることが今回の調査で明らかになった。「大学図書館利用のアンケート」の回答を留学生に依頼した時に、「あまり利用していない」や「図書館の資料は使っていないから」と躊躇する留学生が少なからずいたが、実際にアンケートの回答を進めて行くと、本人の弁以上に図書館を利用していることが多かった。図書館利用頻度が高い留学生を対象とした調査と思われ、依頼の前にためらわれたりし、調査目的の説明に時間を要することもあった。しかし、アンケート用紙の自由記述欄には多数の回答が記入された結果となった。

調査結果から見た留学生からの要求

意外な結果だったのは、大学図書館の使い方をもっと教えてほしいとする意見が多かったことである。留学生は大学図書館を十分に活用する以前の段階で迷っていたことが明らかになった。滞在年数の長い留学生であっても、図書館サービスを十分に活用しているとは思えない意見が述べられている。例えば、大学図書館案内の英文と中国語のパンフレットが配布されていることを知らない、大学図書館にない本を他の大学図書館から相互貸借制度を利用して借りることができる、他の大学へ文献複写を依頼し欲しい学術雑誌のコピーを取り寄せることができるなど、基本的な図書館サービスの情報が伝わっていないことが浮かび上がって来た。

自由回答の意見の中にあった、図書館内の案内や掲示に英語表記があれば図書館が使い易い場所になると期待している。図書館に慣れ、求める資料を探し、要求を出せるようになるまでに相当の時間を留学生が費やしていることが分かり、実際は図書館の利用方法を詳しく知りたいという要求が最も強いことが判明した。

調査結果から、留学生が望む時に図書館ガイダンスを英語で受けることができれば、図書館サービスについて理解できるであろう。そうすると繰り返し述べられた要望点の幾つは緩和されると考えられる。例えば、館内の検索用端末のメニューの1つに、英語及び留学生が多い国の言語による図書館内のサイン表示があると図書館利用の理解が深まるのではないだろうか。この点は、長崎大学に突出する課題ではなく、留学生を受け入れている多くの大学に共通する問題ではないだろうか。

次のような大学の実施例の報告がある。法政大学では、新留学生への特別オリエンテーションの中で、図書館利用についてガイダンスを行い、スライドを利用した説明や書庫の案内、オンライン目録での検索など、実践的な図書館案内を行っている⁴⁵⁾。また、新潟大学では平成8年から留学生担当教員の協力を得て留学生向けの図書館ガイダンスを行っている。同大学図書館では英語・中国語・ハングル語の図書館案内を用意している⁴⁶⁾。

専門分野の情報要求には、学部間の格差は見られず一定の高い要求がある。図書館利用についてのガイダンスは、学部を問わず多くの留学生が希望するところである。

専門資料の充実を求めるのと同時に、英語の小説やノンフィクションなどの娯楽性の高い読み物の要求が学部を越えて、男女とも同時にあった。滞在年数の長さにも関係がないようである。一般誌や総合誌などの雑誌類の要求もあるが、これらはインターネットで各雑誌のヘッドラインを閲覧し確認できるが、それよりもむしろ手にとって読むことができる一般図書の要求の高さが注目される。留学生にとって大学図書館は研究・学習環境としての教育機関であるだけでなく、「精神的支え」であり、母国の新聞や雑誌の閲覧、英語の小説の貸出によって「母国を思う心」^{注7}を維持する役割を果たすメンタルな機能を期待されていることも浮かびあがった。

今回は、長崎大学に在籍する留学生209人中全体の22%に当たる45人の大学図書館の利用状況しか調査できなかった。しかし、この調査結果が長崎大学の留学生全体に共通する傾向であるのか、さらには、留学生一般と大学図書館利用との関係に於いてある一定の傾向があるのか関心ある点である。今後とも留学生の大学図書館利用について継続的な研究を進めていきたい。

最後に、本調査にあたり御協力頂いた長崎大学歯学部佐野和生助教授に感謝申し上げます。

(留学生センター非常勤講師)

りゅうがくせい だいがく としよかん り ようちよう さ
留学生の大学図書館利用調査

A Survey of Foreign Students' Use and Views of the University
 Library

あなたのことについておしえてください

- 1) 出身国 your country ()
- 2) 男 女
- 3) 日本にきて () 年 How long have you been in Japan ?
- 4) 学部 faculty () () 年生、
 大学院 graduate school () 年生、

1. あなたは大学図書館にいきますか？ (1つだけ○をしてください)

Do you go to the university library ? check 1 item

- 1) ほとんど毎日 every day
 - 2) 週 1～2回ぐらい once or twice a week
 - 3) 月 1～2回ぐらい once or twice a month
 - 4) テストの時期だけ only the day that I have examination
 - 5) 一度しか行ったことがない only once
 - 6) まだ一度も行っていない never go to library
- 5) と 6) に○をした人へ 大学図書館へいけない理由は？

2. 大学図書館に行く目的は？ (5つまで○をしてください)

For what purpose do you go to the library ? check 5 items (maxim)

- 1) 図書館の本を利用して図書館で勉強するため
 to study in the library.
- 2) 勉強や教養のため、本を借りにいく to borrow books to use
- 3) 論文を書くために図書館を利用する
 to write report in the library
- 4) 勉強や研究に必要な雑誌をみたり、雑誌記事のコピーをとるため
 to read journals and to copy journals in your area of study

5) 日本語や外国語の勉強のため

to study japanese language or other languages

6) 新聞を読むため to read newspapers

1 日本^{にほん}の新聞^{しんぶん} japanese newspapers2 自分^{じぶん}の国^{くに}の新聞^{しんぶん} your country's newspapers3 そのほか^{そこのほか}英語^{えいご}新聞^{しんぶん}など the English newspapers

7) インターネットを利用するため to use the Internet

1 自分^{じぶん}の国^{くに}の新聞^{しんぶん}をよむため

to read your country's newspapers

2 e-mail^{つか}を使うため to use the e-mail3 勉強^{べんきょう}や研究^{けんきゅう}の情報^{じょうほう}をさがすため

to research about your area of study

4 データベース (DATABASE) を使うため to access the DATABASE

5 いろいろなホームページにアクセスするため

to access many Homepages

8) 大学院^{だいがくいん}や就職^{しゅうしょく}情報^{じょうほう}の情報^しを知りたい

to find information about graduate schools and employment.

9) 図書館^{としょかん}の本^{ほん}はほとんど利用^{りよう}しないが、冷暖房^{れいだんぼう}もあり、勉強^{べんきょう}しやすいから I don't borrow from the Library, but I use it because it's an airconditioned and a comfortable place to study.10) 新聞^{しんぶん}を読^よんだり、まちあわせをする

to use the library to meet your friends.

3. 他^たの図書館^{としょかん}を利用^{りよう}しますか Do you use other librarys ?

1) はい Yes

1 県立長崎^{けんりつながさき}図書館^{としょかん} (Nagasaki Prefecture Library)2 長崎市^{ながさき}図書^{としょ}センター (Nagasaki Public Library)3 他^たの大学^{としょかん}図書館^{としょかん} (other Universitys Librarys)

Do you go to other library to use and to borrow books?

2) いいえ No

4. 大学図書館の資料について希望することを2つまで○をしてください

Do you have any request for any library materials (book, journal, etc.) ? check 2 items

- 1) 日本語・日本文化・日本事情についての本・ビデオ・テープがほしい

I need books about Japanese language, japanese culture and japanese information.

- 2) 自分の国の新聞・雑誌がほしい

I need my country's newspaper and magazine.

- 3) 自分の国について書かれた日本語の本がほしい

I need books about my country written in japanese.

- 4) 日本について書かれた英語・中国語などの本がほしい

I need books about Japan written in my country's language.

- 5) 辞典や辞書がほしい

I need more dictionarys.

- 6) 「留学生コーナー」にもっと本がほしい

I need more books in the "Books for Foreign Student".

- 7) 長崎についての情報がほしい

I need information about Nagasaki.

- 8) 自分の専門の本や雑誌がほしい

I need books and journals about my speciality.

5. 大学図書館に希望することを2つまで○をしてください

Do you have any request for the University library ?

check 2 items

- 1) 貸出期間を長くしてほしい

It is necessary to extend the loan period.

- 2) 貸出冊数をふやしてほしい I need more books to borrow.

- 3) 開館時間を長くしてほしい I need to extend the open hours.

- 4) 大学図書館にない本を買ってほしい

I need books that the library dosen't have.

- 5) 大学図書館の使い方をもっとおしえてほしい

I want to know how to use the library more effectively.

- 6) 自分の国のことばで書いた大学図書館のガイドがほしい

I need the library guidebook written in my language.

6. 自由にかいてください

Please write here your comments and opinions about the library.

- 1) あなたが大学図書館でよく読む新聞や雑誌はなんですか

What newspapers and magazines do you usually read in the library ?

新聞の しんぶん 名前 なまえ newspapers ()

雑誌の ざっし 名前 なまえ magazine ()

- 2) 大学図書館の資料について

Your comments about library materials (books, journals, newspapers etc.)

- 3) 大学図書館の利用について Your comments about library's service

- 4) 大学図書館の建物・机・イス・冷暖房などについて

Your comments about the library building and facilities (desk, aircondition etc.)

- 5) 大学図書館のコンピュータについて

Your comments about the library's computers.

- 6) 大学図書館の職員について

Your comments about the library's staffs and librarians.

- 7) 日本の大学図書館の感想について

What impression do you have about Japanese university librarys ?

8) 自分の^{じぶん}の^{くに}国の^{たいがくとしょかん}大学図書館と^{ひかく}比較して

If you have been to university libraries outside of Japan,
how would you compare them to ones in Japan ?

9) そのほかにかきたいことがあったらかいてください

If you have other comments and opinions about japanese
university library, please write here.

〈注〉

- 1) 繆徳照 「図書館は留学生の精神的支えに一母国の情報にふれるコーナー設置
を一」 『図書館雑誌』 Vol. 83 No. 4 1989. 4
- 2) 『長崎大学附属図書館報 図書館ニュース』 No. 56 1992. 2
- 3) 『医学分館ニュース』 No. 4 1994. 10
- 4) 深井耀子、寒川登、山田伸枝 「留学生の大学図書館利用調査－留学生科目「日
本事情」・利用条件・ガイダンス・レファレンス等について－」 『図書館界』
Vol. 43 No. 3 1991. 9.
- 5) 山崎敏夫 「新入留学生への特別オリエンテーション」 『留学交流』
Vol. 6 No. 3 1994. 3
- 6) 松原寿之 「新潟県における留学生サービス」 『大学の図書館』
No. 40 1997. 3
- 7) 劉斯允 「図書館の利用の仕方について」 『長崎大学附属図書館報図書館
ニュース』 No. 56 1992. 2